



1. 診療科の特徴、特色

埼玉医科大学病院急患センターERではER型救急医療体制による診療を行っています。ER型救急とは米国、カナダなど北米において一般的な救急医療体制を指し、救急部門は救急患者の診断と初期治療に特化しています。救命救急センターに代表される三次救急が、患者へのファーストタッチから外来診療、入院治療までの全過程をカバーする自己完結型であるのに対し、ER型救急医（ER医）は原則的に入院診療を行わず、診療方針が決定した患者の診療は専門各科に引き継ぎます。ER救急医は罹患臓器や軽症／重症といった病態の区分によらず、診断・初期治療という病院診療の時系列での先頭部分を専門とする職種で、臨床各科の専門医と協力して診療可能な病態全てに対応することを原則とします。ER型救急は従来の一次（初期）～三次の救急医療区分にはなじまない医療体制であり、軽症から重症までの救急患者をカバーするため、ER救急医には非常に広い範囲の傷病に対応する能力が求められます。

2016年の東館への引っ越しを機に救急科は救急医療一般に加え、中毒の診療に力を入れることとなりました。中毒患者の臨床診療、教育のみならず質量分析装置などの分析機器を整備した研究室を併設して、中毒に関する研究も充実させています。当センターのスタッフは「臨床中毒学」に関する著書や論文などの業績が豊富で、我が国におけるこの分野の多施設共同研究の基幹施設になることを目指しています。

ER型救急救急では原則として臨床各科に診療を引き継ぎ入院患者の治療は行わず、急性薬物中毒、アナフィラキシーショック、熱中症など、専門とする臨床科が明確でない患者に限り入院診療を担当します。このように自己完結型の医療体制でないため、業務の境界線がはっきりしており、シフト制をとることで勤務時間を明確化して働きやすい職場とすることができます。特に育児など家庭生活と仕事の両立を目指す女性医師には良好な職場環境であるといえるでしょう。

将来にわたって救急医療に従事しようと考えている医師ばかりでなく、いざれば開業して地域医療を支えたい医師、また中毒診療を専門としたい医師にとって、埼玉医科大学病院急患センターERは幅広い臨床経験と研究に携わる機会を得るのに絶好の職場です。

2. 診療実績

埼玉医科大学病院 急患センター（ER） 診療実績

	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
受診患者総数（人）	23,035	22,270	22,290	21,535	21,260
救急車収容数（台）	3,850	3,977	4,037	4,065	4,113

過去5年間受診者総数が減少しているにもかかわらず、救急車の収容数は増加傾向にあり、今後も救急搬送患者数は増えるものと思われます。東館のERは広い初療室を持ち、より重症な患者への対応が可能となりました。

3. 診療科の体制

芳賀 佳之 (指導責任者、診療部長、教授)

専門領域：救急医療一般、循環器疾患、感染管理、災害医療

日本救急医学会評議員・指導医・救急科専門医

日本外科学会専門医

日本胸部外科学会指導医・認定医

感染制御医 (ICD)

日本医師会認定産業医

日本 DMAT 登録隊員

日本救急医学会 ICLS ディレクター

上條 吉人 (教授)

専門領域：集中治療、急性血液浄化法、急性中毒、リエゾン精神医学

日本救急医学会評議員・指導医・救急科専門医

日本精神神経学会専門医

精神保健指定医

日本中毒学会認定クリニカル・トキシコロジスト

一般病院連携精神医学指導医・専門医

中谷 宣章 (講師)

専門領域：救急一般、中毒、災害医療

日本救急医学会救急科専門医

日本救急医学会 JATEC インストラクター

花澤 朋樹 (非常勤医師)

専門領域：内科一般、救急医療一般

日本医師会認定産業医

日本医師会認定康スポーツ医

4. プログラムの目的と特徴

「埼玉医科大学病院救急科専門研修プログラム」は新専門医制度に準拠し、日本救急医学会の承認を受けています。本研修プログラムの目的は、「国民に良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。

プログラムでは下記 4 のつのモジュールが研修プログラムの基本になります。

- ① クリティカルケア 12 か月
- ② ER 研修 12 か月
- ③ 初期臨床研修経験と専門医取得以降の修練希望領域に基づいた他科研修 6 か月
- ④ クリティカルケアまたは ER 研修 6 か月（オプションとして特殊災害研修最大 3 か月まで、小児科・精神科・内視鏡等の他科研修最大 3 か月までを含む）

ER での救急医療に従事し walk-in 患者、救急搬送患者の診療を行うことと同時にクリティカルケアの研鑽を積むことがプログラムの基本ですが、同時に内科、外科整形外科、小児科、精神科、内視鏡診療などへのフルタイムローテーションも行われ、希望に応じて特殊災害医療対応施設研修（3 か月まで）も含まれます。

プログラムは自由度が高く、内科系もしくは外科系に力点を置いて研修を行うことが可能です。また近未来に発生が予想される地震災害などに対する災害医療を理解し、災害医療において指導的立場を発揮できるようになることも到達目標に加えられています。

埼玉医科大学病院 救急科専門研修プログラムには以下の URL でアクセス可能です。

<http://saitamameder.wixsite.com/smuh-er>

5. キャリアパス（取得可能な資格）

日本救急医学会救急科専門医（4 年目）

6. 連絡先（担当者名、アドレスなど）

芳賀 佳之（はが よしうき）

Tel : 049-276-1199 (ER)

E-mail : yhaga@saitama-med.ac.jp